

**ENDURANCE RACING** **グリップヒーターHG 取り付けについて** JNK3S530G1  
**適合車種：CL250、CL500**

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
 ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
 いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

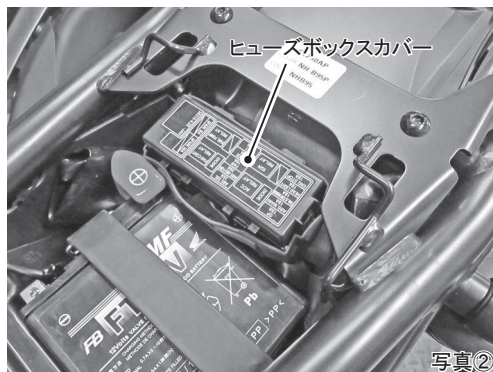
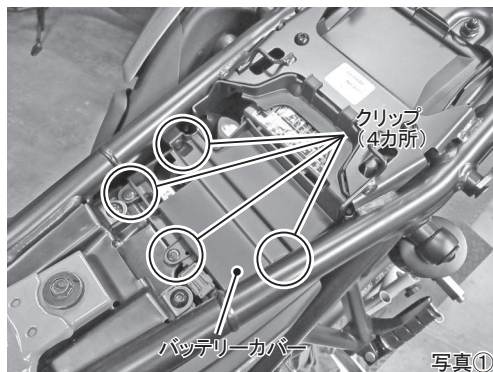
**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を見逃してご使用し、重大な  
 事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

**●接続する前に**

本説明書に記載の無い各部のボルト、  
 ナットの取り外し方については車両の  
 サービスマニュアルを参考にしてください。

**<リレーの取り付けについて>**

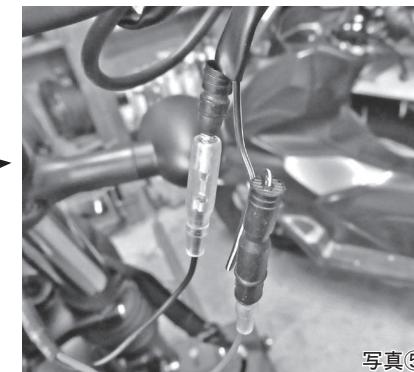
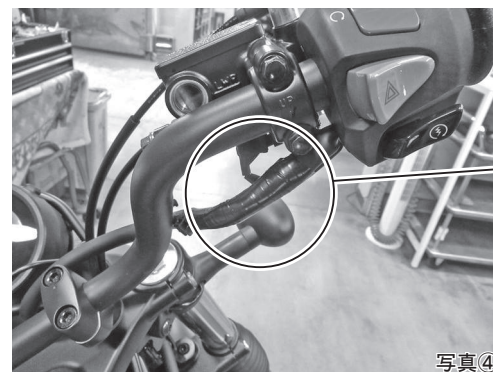
1. シートを取り外して、クリップ4カ所と  
 バッテリーのマイナス端子を取り外し、  
 バッテリーカバーを取り外します。  
 (写真①)
2. ヒューズボックスのカバーを取り外します。  
 (写真②)
3. カバーを取り外したところにある空き部分に  
 付属のリレーを接続します。  
 (写真③)
4. 取り外した逆の手順でもとに戻します。  
 外したバッテリー端子も接続しておきます。



**<グリップヒーターの取り付けについて>**

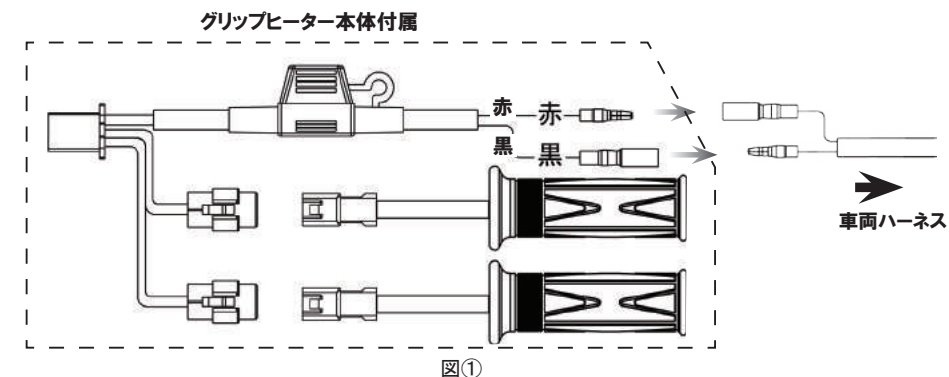
**①配線の接続について**

ハンドルの右側スイッチボックス付近の配線テープを取り除いて、車両のオプション用ギボシ端子  
 を取り出して、グリップヒーターのハーネスを接続します。(写真④、⑤)



ハーネスを接続したら、図①のように  
 左右グリップ、スイッチを仮接続して  
 グリップヒーターの動作確認をしておきます。  
 問題無く動作すれば、グリップとスイッチは  
 一旦ハーネスから外しておきます。

その後、接続部分は配線テープを巻きつけて  
 防水処理を施してください。(写真⑥)





## ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

## ③制御スイッチの取り付け

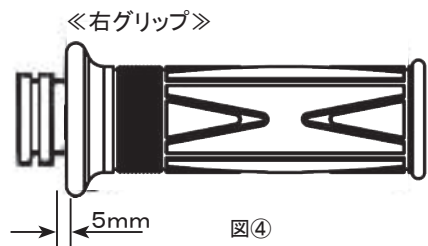
写真⑦のようにハンドル操作の邪魔にならない位置に付属のブラケットをハンドルに固定します。



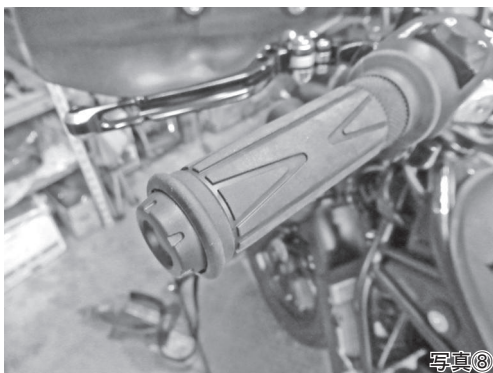
写真⑦

## ④左右グリップの取り付け（参考例）

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



図④



写真⑧

また、純正グリップエンドが無い場合、写真⑧のようにグリップヒーター付属のエンドキャップを接着剤などで固定してください。



**注意**

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。

## ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないで下さい。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

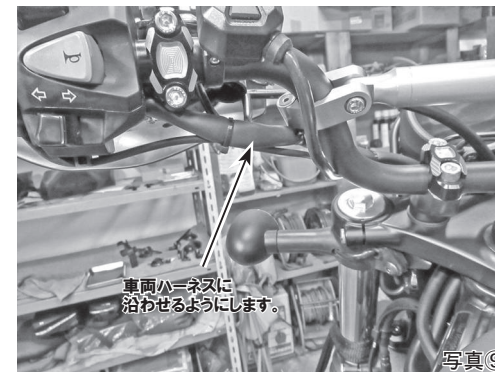
※右側グリップはスロットルを全開、全閉にした時に、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

## ⑤配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



写真⑨

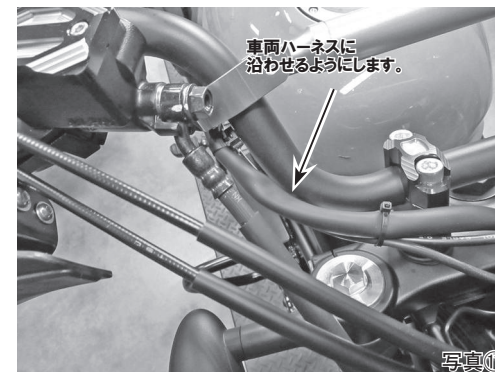
※このとき、ハーネスとスイッチの接続カブラー部は配線テープを巻き付けて防水処理を施してください。(写真⑩)



写真⑩

## ⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、取り外したものを元に戻して取り付け完了です。



写真⑪

## ●構成部品●

- ・リレー・・・1個
- ・スロットルパイプ・・・1個
- ・書類・・・1部

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com